Information

こちらのイベントのお申込み・お問い合わせは、各イベントの「問い合わせ先」へご連絡ください。

「清流の国ぎふ」文化祭2024さきがけプログラム

清流の国ぎふ 地歌舞伎 勢揃い公演

県民芝居小屋「ぎふ清流座」として、装いを新たにしたぎふ清流文化プラザで再び幕を開けた「地歌舞伎勢揃い公演」。2年後に迫った国民文化祭の開催に向け、県内の保存会が順次熱演を披露します。

●開 催 日／〈令和4年度〉2022年7月24日（日）・
11月26日（土）・11月27日（日）
2023年1月15日（日）・3月19日（日）
〈令和5年度〉6公演開催（予定）
●会　　場／ぎふ清流座（ぎふ清流文化プラザ長良川ホール）岐阜市
●料　　金／無料

2022.4.30 新舞台幕開けの様子

問い合わせ先
（公財）岐阜県教育文化財団
TEL 058-233-8164

ぎふ清流文化プラザホームページ

tomoniアートサポータープレゼンツ企画展vol.3

もぐもぐキッチン ～大好きな食べ物～

tomoniアートサポーターが企画から展示までを行う持ち寄り型の展覧会を開催します。団体や個人、障がいの有無に関わらず、各所で制作された作品を展示します。

●開 催 日／①公募展 2022年9月10日（土）～10月10日（月・祝）
②ピックアップ展 2022年10月23日（日）～11月7日（月）
●会　　場／ぎふ清流文化プラザ（岐阜市）
●料　　金／無料

昨年度の様子

問い合わせ先
岐阜県障がい者芸術文化支援センター
［TASCぎふ］ TEL 058-233-5377

TASCぎふホームページ

各分野の一流が岐阜へ大集合！「エンジン01 in 岐阜」

文化・芸術・スポーツ・経済など、各分野の第一線で活躍するエンジン01文化戦略会議の会員約150名が、一堂に岐阜に集い、様々な講座やコンサート等を開催します。

●開 催 日／2022年10月28日（金）～30日（日）
●会　　場／長良川国際会議場、岐阜大学、サラマンカホール、他
●料　　金／各500円（一部別途料金が必要なものがあります）
8月上旬チケット販売予定

問い合わせ先
エンジン01in岐阜
実行委員会事務局
（岐阜県文化創造課内）
TEL 058-272-8246

エンジン01 in 岐阜 公式ホームページ

受講までの流れ

お申し込み［TEL・FAX・Mail・HP］ ＞ お申し込み受付のご連絡 ＞ 抽選 ＞ ご当選のご連絡 ＞ 受講

要・事前申し込み

アートラボぎふの全プログラムは、完全予約制となっております。
1人でも多くの方に参加・体験いただくために、**参加の可否に関しては改めて事務局よりご連絡いたします**。また、キャンセルが発生した場合、事務局から改めてご連絡させていただきます。こちらの申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにて「アートラボぎふ事務局」までお申し込みください。

FAX 0584-71-6130　EMAIL artlabgifu@ne-planning.com

アートラボぎふONLINE内、お申込みフォームからもお申込みいただけます。

プログラム名 ご希望のプログラム名を記入してください（複数記入可）							
代表者	ご住所						
	お名前 必須	よみがな（　　）		性別（自由記載）	年齢　歳		
	電話番号 必須		メールアドレス 必須				
ご参加人数　名 （代表者様も含めた合計人数）	2名以上で参加される方はお連れ様全員のお名前（よみがな）・性別（自由記載）・年齢をご記入ください	よみがな（　　）	性別	歳	よみがな（　　）	性別	歳
		よみがな（　　）	性別	歳	よみがな（　　）	性別	歳

感染予防対策について

安心してプログラムに参加いただくために、参加者の皆さまに以下のご協力をお願いいたします。
- 当日は必ずマスク着用、アルコール消毒の実施にご協力をお願いします。
- 受付時に検温の実施、チェックシート（渡航歴や体調など）の記入にご協力をお願いします。
- 風邪のような症状がある方は、ご参加をお控えください。
- 以上の注意事項をお守りいただけない場合は、参加をお断りする場合があります。

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容の変更、開催時期の延期または中止とする場合があります。
※お申込み情報は本事業の運営のみに使用させていただきます。

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～

お問い合わせ　アートラボぎふ事務局
受付 9：00 ～18：00（土日・祝日除く）
TEL 0584-71-6133

お申込み用紙やその他のプログラムはこちらをチェック！

ウェブサイト
www.gifu-art.jp/art-labo/

2022年6月21日現在

「はじめて」を刺激するアート体験

ART LAB GIFU

清流の国ぎふ芸術祭 アート体験プログラム

第5回 アートラボぎふ

「清流の国ぎふ芸術祭」のひとつ、アートラボぎふは、岐阜県内各地を舞台にアートに触れ、親しみ、発信できるアート体験プログラム。一流の講師を迎えてアートとの出会いの場（ラボ）として、想像する楽しさ、手仕事の奥深さ、伝統に息づく岐阜の魅力にもアプローチしていきます。5年目を迎えるアートラボぎふは、「本物」のアート体験をご用意して、あなたをお待ちしております。

the 5th

開こう、アートの扉

2022
／
2023

主催 / 岐阜県・公益財団法人岐阜県教育文化財団
令和４年度　文化庁文化芸術創造拠点形成事業
文化庁

ARTLAB GIFU the 5th

「はじめて」を刺激するアート体験
開催予定のアート体験プログラム

1946年から2015年まで、69回の歴史を刻んだ「岐阜県美術展」は、全国規模の企画公募展「Art Award IN THE CUBE(AAIC)」(2017年・2020年の2回開催)、県民に広く発表機会を提供する「ぎふ美術展」(2018年・2019年・2021年の3回開催)、そして年間を通じて県内各地で様々なアートに親しむ「アートラボぎふ」(2018年から毎年開催)の3つの柱からなる「清流の国ぎふ芸術祭」に生まれ変わりました。
5年目を迎える「アートラボぎふ」は岐阜県全域をアートの実験場(ラボ)に見立て、会場となる「場の力」にもこだわりながら、大人も子どもも県民の誰もがアートに出会い、触れて、知り、発信できる体験プログラムとして、「ぎふ美術展」や「AAIC」への参加にもつながる内容としてご提供していきます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からワークショップの様式を再考し、オンラインでの開催、映像アーカイブ、ネット配信による座学、体験講座などを組み合わせた新たなスタイルの体験プログラムを展開しています。
※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容の変更、開催時期の延期または中止とする場合があります。

写真実技講座 ―BUNTSU2―

写真は昨年の講座の様子です

「写真は想いが伝わる」。写真による文通を通して、多様な人々と交わり、想いを伝える写真の撮り方を学びます。文通と言っても手紙によるやりとりではなく、テーマにまつわる写真を撮影して交換します。第1回目の講座では、講師である野村佐紀子があなたのポートレートを撮影します。撮ること、撮られることの両方を体験できる講座です。
協力：TASCぎふ

飛騨 ［第1回］**7/30**(土)**31**(日)13:30～15:00
会場／**飛騨市文化交流センター**(飛騨市古川町若宮2-1-63)
※2回シリーズの連続講座です。 ※第1回目講座はどちらか1日のご参加となります。

岐阜 ［第2回］**10月上旬**
会場／**ぎふ清流文化プラザ**(岐阜市学園町3-42)

●料金／1,000円 ●定員／30名

講師 **野村佐紀子** NOMURA Sakiko
写真家
九州産業大学芸術学部写真学科卒業。91年より荒木経惟に師事。主に男性の裸体を中心とした独特な世界を探究し続ける。93年より国内外で展覧会をおこなう。主な写真集に「裸ノ時間」(平凡社)、「黒闇」(Akio Nagasawa Publishing)、「海 1967 2022 下関 東京」(リトルモア)など多数。

彫刻実技講座 私の大好きなもの

写真は一昨年の講座の様子です

動物等(人・魚・鶏・その他なんでも可)を制作焼成。講師による作品制作へのアドバイス等も受けながら楽しく彫刻を学びます。2回目は完成した作品を鑑賞しながら講座「美の世界」を行います。

東濃 ［第1回］**9/3**(土)13:00～16:30 ［第2回］**11/19**(土)13:30～16:00
※2回シリーズの連続講座です。 ※2回目の講評会のみのご参加も可能です。(無料)
会場／**セラミックパークMINO**(多治見市東町4-2-5) ※2講座とも同じ会場となります。

●料金／1,000円 ●定員／20名 ●持ち物／スケッチブック、鉛筆、作業着(エプロン等)、タオル

講師 **神戸峰男** KAMBE Mineo
彫刻家・日本芸術院会員・名古屋芸術大学名誉教授
1944年 岐阜県生まれ
1988年 名古屋芸術大学美術学部教授就任
2012年 日本芸術院会員就任
2018年 公益社団法人日展副理事長就任

偶然？必然？ ステキなシワの揉み紙日本画講座！

ぎふチャンアートギャラリーでグループ展を開催します

写真は昨年の講座の様子です

和紙を揉んで表情をつけた画面に岩絵具で鳥や花などを描きます。
個性的なこの描法、実は日本画では古典技法！
不思議な仕上がりに心躍ること間違いなし！

岐阜 **9/4**(日) 10:00～17:00
会場／**ハートフルスクエアG**(岐阜市橋本町1-10-23)
講師／**長谷川喜久・林真・福本百恵・帆刈晴日・山守良佳**

●料金／1,000円 ●定員／20名 ●持ち物／筆・筆洗(貸し出し可能)・モチーフ(描きたいもの)

講師 **長谷川喜久** HASEGAWA Yoshihisa
日本画家・名古屋芸術大学教授
1999 日展特選(同'01/'05会員賞/'18東京都知事賞) 2010 個展(高島屋 名古屋・大阪・東京・京都/'14'19名古屋・大阪) 2011 上海美術館主催 長谷川喜久展(上海美術館) 2012 個展(松坂屋 本店 同'16 '20) 2014 現代日本画の世界サテライト長谷川喜久展(岐阜県美術館) 2015 個展(日本橋三越 同'18'21) 2016 建仁寺塔頭両足院 屏風奉納 2019 瑞龍寺 塔頭 天澤院 双龍図襖 制作 2021 長谷川喜久日本画展 感情と記憶のカタチ1991-2021(佐藤美術館) 現在 日展特別会員 新日春会会員 名古屋芸術大学教授

TOMASON WORKSHOP みんなで巨大モンスターを描こう

ぎふ清流里山公園内にて巨大モンスターの展示も行います

TOMASON LAND in KYOTO

様々なモンスターを創造するモンスターワークショップを通して「インスピレーションを形にする」ことを学ぶ講座です。事前に皆さんにオリジナルモンスターを提出いただきます。いただいたオリジナルモンスターを講師が完成させて、プレゼントします。講座では参加者全員で1体の巨大なモンスターをつくりましょう！モンスターには正解・制限がありません。想像し、自由に表現する事を是非楽しんでください！

中濃 **9/10**(土) 10:30~15:30
会場／**ぎふ清流里山公園**(美濃加茂市山之上町2292-1)

●料金／1,000円 ●定員／10名※巨大モンスター制作は当日参加の受付も行います。(無料)
●持ち物／汚れても良い服

講師 **TOMASON** トマソン
アーティスト/キュレーター
地元岐阜県を中心にアートフェスや個展、ワークショップ等を開催する。2011年より毎日独自のモンスターを描き続けている。2019年10月表参道にて自身のギャラリー "MAT" をオープン。2020年4月出版レーベル "白い立体" からオリジナルモンスターをまとめた図鑑『MONSTER BOOK』をリリース。

書と現代アート 方丈記を書く。「書を纏い、街を出よう」～道と旅とレトリスムと～

後楽荘にて9/24(土)講師作品の展示も行います

参考写真:横山豊蘭オリジナルTシャツ© HOURAN YOKOYAMA 2022
注:今回のデザイン内容とは異なる場合があります。

鴨長明の「方丈記」など、人生や旅にまつわる古典作品の一節をご紹介し、臨書を行います。臨書した書を皆さんの手でTシャツにプリントしていただき、そのTシャツを着て街に出ます。書と向き合い、自身が臨書した文字を纏った上で、街に繰り出す姿を映像としても記録します。会場「後楽荘」にて、講師の作品展示会を開催します。(9/24(土)のみ、展示を一般公開)

岐阜 ［ワークショップ］**9/25**(日)10:00～17:00 ［展示一般公開］**9/24**(土)10:00～16:00
会場／**後楽荘**(岐阜市本町1-31)

●料金／ワークショップ：1,000円・展示一般公開：無料 ●定員／12名 ●対象／高校生以上
●持ち物／お持ちの方は書道用具、作務衣(貸し出し可能)

講師 **横山豊蘭** YOKOYAMA Houran
書道家・アーティスト・名古屋芸術大学非常勤講師
書家の3代目として生まれる。芸術大学を卒業後、90年代前半より国内外で展覧会、書道パフォーマンスを展開。テレビ出演が話題となり、ブームの先駆けとなる。全国各地でワークショップ「書画会」を開催。主な著書:「書道」の教科書(改訂版、実業之日本社刊)

パフォーマンス/ROOT：根 ワークショップin相生座

相生座の小屋見学、パフォーマンスの公開リハーサルも行います

「ROOT：根」PH：上原勇

赤べこ

パフォーマンス「ROOT：根」
アオイヤマダ×ひびのこづえ×小野龍一
ダンサーのアオイヤマダが1枚ずつ服を脱ぎ、脱皮を繰り返しながら踊ることで、違う生き物に変異していく。森に住む巨大なカエル、そのカエルから産み落とされた赤い身体から、耳が5つの頭、黒いイボイボの半身、ピンク色の丸でできた体毛、放射状に広がる腰、5つの尾をもつ尻、柄柄の肌が生まれていく。そして最後は人となり、身体から根が生え、森に土に還る。小野龍一の音楽と共に生命の流れに思いを巡らす作品。

ワークショップ「ちいさな生きものブローチ作り」
ひびのこづえが舞台やテレビの仕事で衣装を作ったときに残ったきれいな生地や衣装の断片を使って、きれいな色の糸でチクチク縫いながら、ちいさな生きものブローチを作ります。絵を描くことや縫い物が苦手でも大丈夫です。

東濃 ［ワークショップ］**10/22**(土) 13:00～15:30
［パフォーマンス&トークショー］**10/23**(日) 14:00～15:30
［衣装展］**10/22**(土)**23**(日)

会場／**美濃歌舞伎博物館 相生座**(瑞浪市日吉町8004-25)
ゲスト講師／**小栗幸江**(岐阜県地歌舞伎保存振興協議会会長、相生座館長)

●料金／ワークショップ：1,000円・パフォーマンス：大人1,000円 18歳以下500円 未就学児無料・衣装展：無料
●定員／ワークショップ：50名 パフォーマンス：200名
●対象／ワークショップ：4歳から大人まで(小学生以下は保護者も参加。付き添いのみの参加はNG)
●持ち物／筆記用具、色鉛筆、ハサミ(できれば布用)

講師 **ひびのこづえ** HIBINO Kodue
コスチュームアーティスト
静岡県生まれ 東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。
コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。1997年作家名を内藤こづえより改める。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当中。今年、野田秀樹作・演出の舞台『Q』衣装担当。2023年ダンス「星の王子さま」KAATにて再演、王子様役はアオイヤマダさん。「WONDER WATER」をはじめとするダンスパフォーマンスを多数展開中。

篆刻(いにしえ)実技講座 古の文字を印に刻む2

岐阜県博物館の見学も行います

講師作「壷天」二種

漢字最古の書体である篆書を石に刻む篆刻(てんこく)。書の歴史を知ること、篆書の書き方を学び、古代の文字に親しみながら、多様な印を鑑賞・分析することが、より自由な印を作るヒントとなります。印刀の使用法や印面構成のコツ等、篆刻の工程を実演しアドバイスします。印の完成までを体験します。

中濃 **11/5**(土) 10:00～16:30 会場／**岐阜県博物館**(関市小屋名1989)

●料金／500円 ●定員／10名 ●対象／中学生以上
●持ち物／書道用具(硯、半紙用太筆、墨汁、毛氈、文鎮など)
※お持ちでない方も参加できます。篆刻の道具は貸し出しします。
希望の方には道具の販売も行います。

講師 **波多野公一** HATANO Koichi
岐阜県書作家協会常任理事
日展会友、読売書法会理事、謙慎書道会常任理事、全日本篆刻連盟理事。深遠な書と篆刻の世界に魅了され研究を続けている。

アヴァン ギャルドと現代アート

オディロン・ルドン《オルフェウスの死》
岐阜県美術館所蔵

アヴァン ギャルド(前衛)という言葉は第一次世界大戦(1914～18)頃に現れた新しい美術、すなわちシュルレアリスム(超現実主義)や抽象絵画を指すものでした。特にシュルレアリスムが後世に与えた影響は絶大で、美術のみならず芸術全般に及びました。
そのシュルレアリスムの先駆者としてオディロン・ルドンの名は忘れることができません。モーリス・ドニの作品「セザンヌ礼賛」(1900制作)には、尊敬するセザンヌの絵を取り巻くようにナビ派の画家たちが並び、その中心にルドンが描かれています。印象主義を克服しようとしたナビ派の画家たちにとって、内面世界の表現に挑んだルドンは一歩先を行く先輩であり、後のシュルレアリストたちにとっても示唆に富んだ存在でした。印象主義やオディロン・ルドンの象徴主義は19世紀末のアヴァン ギャルドであったと言えるでしょう。
今回は岐阜県美術館の至宝オディロン・ルドンと今日のアヴァン ギャルドである「現代アート」に共通する"新しさに挑む心"の意義について考えてみたいと思います。

飛騨 ［飛騨開催］**11/6**(日)13:30～15:00
会場／**飛騨高山まちの博物館**(高山市上一之町75)

中濃 ［中濃開催］**12/11**(日)13:30～15:00
会場／**せきてらす**(関市平和通4-12-1)

●料金／無料 ●定員／20名

講師 **桑原鑛司** KUWABARA Hiroshi
洋画家・Art Award IN THE CUBE企画委員会委員長
1979年 岐阜県美術館開設準備室勤務
1982~86年 岐阜県美術館学芸員
2009~12年 ヤマザキマザック美術館学芸室長
2015年～ Art Award IN THE CUBE企画委員長

アートのお悩み相談会&作品講評会

11時より大垣市守屋多々志美術館の見学も行います

写真は昨年の講座の様子です

創作活動を行う方だけでなく、鑑賞者、ギャラリスト、コレクターなど美術に興味がある方、誰をも対象としたプログラムとしてスタートしました。今年も今まで通り幅広くアートに関する疑問、質問にお答えしていきたいと思います。
同時に参加者の多くは制作者が占めます。今まではポートフォリオや小作品を持参され講座終了後に個別に作品講評などのアドバイスをしていましたが、今回からは制作者はできるだけ実作(大作可)を持参頂き(持参不可能な場合は画像も可)それを言わば公開講評のようなかたちでアドバイスしていこうと考えています。

西濃 **12/4**(日) 13:00～16:45
会場／**大垣市守屋多々志美術館**(大垣市郭町2-12)
ゲスト講師／**長谷川喜久**
(日本画家・名古屋芸術大学教授)

●料金／無料 ●定員／10名 ●対象／幅広くアートに関するお悩みをお持ちの方(見学のみのご参加もいただけます)
●持ち物／作品制作に関するお悩みをお持ちの場合、ご自身の作品+ポートフォリオ、若しくはその何れか

講師 **立島惠** TATEJIMA Kei
佐藤美術館学芸部長
1960東京都生まれ 和光大学人文学部芸術学科卒業。1990年佐藤美術館設立当初より学芸員として運営に参加。佐藤国際文化育英財団の奨学金プログラムの構築、若い作家に対する支援活動、展覧会等を行い今日に至る。現在 公益財団法人佐藤国際文化育英財団理事、学校法人杉並学院評議員、名古屋芸術大学特別客員教授、武蔵野美術教育研究所所長、絵画のつくば賞審査員長、デビュー新人賞審査員、日本水墨画大賞審査員

メディアアート・ワークショップ「音のなる器」を紡ぐ

日常で耳にする音をヒントにして、音のなる楽器(音具)を制作します。コンピュータを用いた電子工作を体験しながら、独自の楽器を奏で方も含めて創作します。
※内容は変更する可能性があります。詳細はアートラボぎふONLINE等でご案内いたします。

西濃 **1/22**(日) 時間未定
会場／**IAMAS**(大垣市加賀野4-1-7)

●定員／10名 ●対象／高校生以上

講師 **金箱淳一** KANEBAKO Junichi
楽器インターフェース研究者/神戸芸術工科大学准教授
情報科学芸術大学院大学［IAMAS］修了。筑波大学大学院人間総合科学研究科で博士(感性科学)を取得後、障がいの有無にかかわらず、共に音楽を楽しめる「共遊楽器」(作家による造語)を研究・開発している。
作品「楽器を纏う」の開発経験を基に東京2020パラリンピック閉会式 演出協力、他クライアントワークも多数行う。作品「音鈴 - 信濃」「Vibracion Banco」は長野県立美術館に収蔵。